

まちの話題



講演する山本華世さん

健康づくり講演会

11月25日に、矢部保健福祉センター千寿苑で行われた、社会福祉協議会主催の福祉まつりのなかで、2人の講師を迎えた健康づくり講演会が行われました。1人目は、落語家の林家花丸さん。笑いは健康の源というこで、爆笑落語を披露しました。2人目は、福岡のテレビ情報番組で長年キャスターを務めた山本華世さんが「自分らしく生きる」と題して講演しました。健康者と障がい者が一緒にスポーツを楽しむ「かよりんピック」という企画を始めた山本さん。たくさんの方の来場者の前に、自分らしく生きてきた半生を語りました。

HAL定期演奏会

山都町消防団音楽隊HAL（ハル）の定期演奏会が12月1日、矢部保健福祉センター千寿苑で行われました。第18回となる今回の定期演奏会では、「錨を上げて」など11曲を演奏。4曲目に披露された「花は咲く」は、NHK東日本大震災被災地復興のテーマソング。嶋崎千春さん（島木）がHALの演奏をバックに、のびやかに歌い上げました。このほか、指揮者体験では3人が演奏を指揮する楽しみを体験しました。



「花は咲く」を歌う嶋崎千春さん

楽楽まつり

12月2日、道の駅清和文楽邑で、「楽楽まつり」が開催されました。高千穂の夜神楽、清和文楽、そして田楽御膳を一度に堪能できる年末恒例のイベントです。高千穂の夜神楽では「手力雄の舞」など4つの演目が披露されました。昼食の田楽御膳では、「どぶろく歌瀬」のサービスも。午後からの清和文楽の人形芝居「壺坂霊験記」でまつりは締めくくられ、今年も約140人の観光客が3つの「楽」を楽しみました。



高千穂の夜神楽

夏休み茶道教室から被災地へ

夏休み茶道教室の子どもたちが、九州北部豪雨で被害を受けた阿蘇市への見舞金を教育委員会に渡ししました。この見舞金は、同教室に通った子どもたち11人が、矢部地区総合文化祭で「子どもの呈茶」を開催した際に、お客さんからいただいた料金の一部です。12月5日に教室の代表4人が、「被災地に役立ててください」と山下明美教育長に渡し、教育委員会を通じて、阿蘇市長に直接渡されました。



茶道教室の子どもたちと山下教育長

橋本監査委員に 功労表彰



橋本良彦さん

山都町監査委員を務める橋本良彦さんが、全国町村監査功労者表彰を受賞され、その伝達式が12月6日、清和総合支所で行われました。この表彰は、7年以上在職する監査委員が対象で、全国で73人、熊本県では9人が表彰されました。橋本さんは、38年間の教職員生活を終えたあと、平成17年3月から監査委員を務められています。「行政用語などわからないことも多かったが、町民目線を心がけて監査を行ってきた。やってよかったと思うことは、より町が好きになったこと。」と感想を話してくれました。

通潤山荘に 大きな門松



大きな門松がお客さんを出迎えます

12月3日、国民宿舎通潤山荘の玄関に2メートルを超える大きな門松が飾られ、正月の装いとなりました。制作したのは、通潤山荘に勤務する村山光雄さん（小笹）。約3時間をかけて作られた大きな門松は、材料すべてを町内で調達したそうです。村山さんは「10周年を迎えた通潤山荘で、正月を迎えるお客様の幸せを祈願して作りました。多くの家庭でもぜひ作ってほしい。」と話してくれました。通潤山荘によると、12月31日の宿泊は満室で、元旦にはもちつき大会も行われます。

改装を祝って新町祭



笑顔あふれた新町祭

平成21年度から行われてきた新町商店街の美化工事。11月でその工事が完了し、石畳と街路灯が独特の雰囲気を出しています。その工事の完了を祝う「新町祭」が11月25日、盛大に開催されました。この日の新町通りには、飲食店の青空食堂や、世界の塩などさまざまな商品が買える出店が並びました。また、各商店街対抗の綱引きや子どもたちの綱引きなどのイベントもあり、笑顔が並ぶ「笑店街」といった新町祭りでした。

三遊亭遊馬独演会



今年も大笑いしました

今年も三遊亭遊馬さんが笑いを届けにやってきました。11月30日、落語家三遊亭遊馬さんの独演会が開かれ、会場の清和基幹集落センターには、小峰地区の方々など約80人が集まりました。この三遊亭遊馬さんの独演会は、小峰自治振興区の主催で開かれ、一昨年から始まって、今年で3回目です。落語会一といわれる大きな声で落語を披露。会場は大きな笑いに包まれました。

支部体協対抗サッカー

11月5日～21日
【1部優勝】
中島東部支部体協
【2部優勝】
通潤支部体協



中島東部支部体協



通潤支部体協